



平澤真希（ピアニスト / 作曲家）

3歳からピアノを始め各ピアノ・コンクールに入賞。長野県伊那北高校を卒業後、東京音楽大学に入学。在学中にカロル・シマノフスキの音楽に強い影響を受ける。

1993年、霧島国際音楽祭グランプリ受賞。この折、音楽祭審査委員として来日していたポーランドの名ピアニスト、レギナ・スマンジャンカ（ショパン音楽院学長など歴任）に才能を認められ、ショパン音楽院（現ショパン音楽大学）に奨学金特待生として留学。シマノフスキの作品を中心に、ピアノソロ、ヴァイオリンデュオ、コンチェルト等、幅広いレパートリーを習得し、在学中からポーランド各地で演奏活動を行なう。数多くの国際音楽祭に出演。ショパン音楽院大学院最優秀首席卒業。

日本、ポーランド、フランス、オランダ、ウクライナ、クウェート、フィリピン等世界各地で演奏活動を行い、魅力的かつ比類ない音楽的個性と独創性を持ったピアニストと評されている。テレビ、ラジオ（ポーランド第1テレビ、NHK-FMなど）に出演。16年間ポーランドに在住し、巨匠音楽家たちのパートナーとして室内楽奏者でも2010年まで毎年世界各地でリサイタルを開いてきた。

またポーランドでも病気の子供達のために活動する団体に加わり笑いと音楽

を提供し社会福祉にも力を注いでいる。演奏は全身を使ったダイナミックな奏法で、魂のピアニスト、と呼ばれ注目されてきている。

2010年元日、インターネット・TV、「FM 南青山お正月特別番組・平澤真希珠玉のピアノ・コンサート」に出演。世界各地からの視聴を得て、1週間のアーカイブ放送予定が1ヶ月間のロングラン放送となるなど高い人気度を示した。

2012年から日本での活動を増やし、上野・東京文化会館、高崎シティーギヤラリーホールなどコンサートツアーを行い「レクチャーコンサート“祖国への愛”シリーズ『ポーランド・ショパン後の音楽』と題し、ポーランドの文化勲章受賞ヴァイオリニスト、コンスタンティ・クルカとともに公演、聴衆に大きな感動を与えるなど各地でのコンサートを行うとともに、民放各局で精力的にテレビコンサートを行っている。これまでに、CD「ショパン没後のポーランド音楽」、「バッション・ザ・ピアノ」、「ショパン室内楽曲全集」(コンスタンティ・クルカ、アンジェイ・ブルーベルとの共演)、帰国後、2014年2月ソニー・ミュージックダイレクトよりCD「オマージュ・ア・ショパン」をリリース。「レコード芸術」において「特選盤」に選定される。2015年紀尾井ホールにて「歓喜～闇の先に見えるもの」と題したテーマで天才作曲家が絶望の淵から見た光を取り上げたリサイタルを開催。2012年より作曲を始め、2016年7月5枚目の当CDで、初のオリジナルアルバムをリリース。



水の記憶

16年滞在したヨーロッパから帰国して、しばらくすると私が感じた「日本の源風景」を音にしたくなり作曲を始めました。クラシック音楽の真髄を求めて渡欧した私は、「調和」を探求し続けていたのですが、帰国してみると「完全なる調和」を太古の日本にみいだしました。自然に生かされ、すべてを中心とし、ひとつから生まれひとつであり続けるわたしたち。天体と地球の調和を図ることのできた古来の日本人。そんな本来の「JAPANESE SPIRITS」に魅せられて、今回は特に「水」をテーマにアルバムにまとめてみました。

このアルバムのすべての曲は、自然の中を歩き、目にしたものをノートに記録しておき、私がふと感じた時に、ピアノの椅子に座って瞑想するように目を閉じて心を開いて、感じるがままに鍵盤の上に指を滑らせ、音をつむいで作曲したものです。

1 水のうた

山に登り川の源流から海になるまでの旅をして感じたことは、「ひとつぶ」が成す偉大なる力と大いなる母性愛でした。山に落ちた最初のほんの小さな「ひとつぶ」は、やがて沢となり、山を転がり滝になり、川になり、街に暮らす人々を潤し、大河口となり、海へそして世界へと羽ばたき、地球を抱きかかえるように優しく包みこんでゆきます。あんな小さな「ひとつぶ」が私たち全ての命を支えていると思うと胸が熱くなり、その想いを音に託しました。

2 聖なる樹の声

木とは何か…木の曲を作りたくて各地を歩きました。たくさんの木に出会っ

た中で、杉を見ていて感じた生命力を音にしました。それらは上へ下へと伸びてゆく不動なる絶対的なエネルギー。命の樹。命そのもの。「私たちはこうして今ここに生きているのだ」ということを音にしたかったのです。

3 羽衣を揺らす風

頬をなでる優しい風。柔らかいエメラルドの風は天女の羽衣を揺らしました。「こういうのを幸せというのよね…。」と天女が風で揺れる羽衣をたなびかせながら、そっとささやきました。風はあちらとこちらを自由につなぐ特別な手段を持っています。感じてみよう、風が運ぶ今日のことばを…。

4 水のプレリュード

長い冬が終わり、水辺が輝く光を反射してきらめいています。春になって嬉しくて光と水のきらめきを表現した小品で、この曲が私の作品になりました。目の前の輝く光景は、私たちの心も同様に光を反射して輝くさまを映し出しているのです。

5 虹をかける神馬

日本の川にはそれぞれ神話があるようです。神馬が棲むという伝説のある山を歩くと、厳しい自然の中で、美しい透明なエメラルドグリーンの川といくつの滝、鹿や猿の鳴き声、その姿を目にしました。世にも美しい神秘的な滝を見ているうちに、私は神馬にまたがり虹をかける光景を思い描きました。神馬のテーマを全体的に転調させながら繰り返し、虹をかける光景では、形に拘らず自由に音で遊びました。川にはそれぞれの個性があります。靈水として尊ばれ、古来より誇りと愛着を持って親しんできたこの川の清らかさが伝わりましたら幸いです。



6 青の記憶

青い地球、青い空、青い海…「青」で感じるテーマは悠久の時。私たちの心に深く浸透している青は、思考や魂をリラックスさせ、解放された自由や本来の自分になれる懐かしさがそこになります。青い色を音にするとどうなるのか…「青」で感じたイメージを即興で試みて録音し、後にそのままを楽譜に起こしてここに収録しました。私が伝えたいことは、即興的ではありますが、大地から湧き上がるエネルギーと天界からも降りそそぐ愛を彷彿とさせるフレーズが湧き上がってきたことです。青という色を通して、地球と私たちの関係を改めて考えてみたかったです。

7 明日への誘い

美しい山麓で満天の星空を見ていると、私たちは膨大な星の中でこうして出会う、果てしない奇跡の重なり合いに圧倒されます。私たちはどこから来たのでしょうか。人は願いを流れ星に託し、星たちは私たちを明日へ誘います。

8 月の雫

空高く上がった透き通った白い月。月の雫が静かに天から舞い降り、地上のすべてに浸透し、清め潤してゆく様子を音にしました。

9 月舟

私たちの人生にも様々な波があります。その波は幻想にすぎないのですが、時に荒波もあり、航路も見失い、戸惑い、不安になることもあります。いつもどんな時も一緒に寄り添い続ける月。優しい光。月は様々な想いを受けとめて光を放ち、道標や希望を与えてくれます。いつも無償の愛を注ぎ、支え続けてくれるので。お金持ちの人にも貧乏の人にも健康な人にも不健康な

人にも、悪人と呼ばれる人にも善人と呼ばれる人にも、笑っている人にも泣いている人にも、みんな同じように慈しみの愛を注ぎ、包み込んでくれます。さあ、漕ぎましょう。幻想の波には絶対に溺れることはありません。そして光へ溶け込みましょう。

10 天への回帰～龍

この地球には14億立方キロメートルの水があるそうです。日本のおへそにあたる杜には、毎日晴れても「3粒の水滴」が舞い落ちているという話を知り、それにインスピレーションを得て作曲しました。私たちの命の恵みである雨を龍が司ります。氷山の一角しか見えない私たちですが、この世の見えないものの方がはるかにアリティーを持っているのかもしれません。3粒の水滴はどんな音がするのか、庭にコップを置いて聞いたり、雨が降る日、長靴を履いて神社にある巨木の横に佇み、大地と木と雨と空の様子を観察したりしながら作曲しました。「私たちは、自然に生かされ共に生きているのだ。」ということをこの曲で共感したかったのです。

11 祈り

ヨーロッパから帰国して、ふるさとの風景を見ていて、口ずさんだメロディです。この美しい故郷が永遠に続くようにと祈りを込めた震災への鎮魂歌、合唱風。ひとつぶのしづくの中に宇宙がある…。すべてはひとつ。この地球が「愛」と「平和」の調和で響き輝き生き続けますように！



[取り扱い上の注意]

*ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。*ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。*ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。*ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。【保管状のご注意】*直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。*ディスクは使用後、元の袋に入れて保管して下さい。

TKI-16701 定価 3,000 円（税抜価格）STEREO / TOTAL TIME 52'1"

©2016 TAKAGI KLAVIER INC. 制作／タカギクラヴィア株式会社

©2016 MAKI HIRASAWA

この CD を権利者の許諾なく、貿易業に使用すること、個人的な範囲を超える使用目的で複製すること、また、ネットワーク等を通じてこの CD に収録された音を送信できる状態にすることが、著作権法で禁じられています。

